

2014 中小企業情報化促進セミナー

～ 中小企業の情報利活用の実態と最新事例を交えた今後の展望 ～

1 開催概要

- ❖ 開催日：平成26年11月13日（木） 13：00～17：00
- ❖ 会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北4-2-25） 5F 大雪
<http://www.arcadia-jp.org/access.htm>（アクセス・地図）
- ❖ 定員：80名 ❖ 受講料：無料
- ❖ 対象者：都道府県中小企業支援機関役職員、中小企業診断士、ITC、中小企業経営者、当財団賛助会員等
- ❖ 主催：公益財団法人全国中小企業取引振興協会（問合せ先：03-6228-3802）
- ❖ 後援：特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会
- ❖ ITC 受講修了証（無料）：実践力ポイント4時間（※全カリキュラムの受講が必要となります）
- ❖ 申込先：http://www.zenkyo.or.jp/it/aid_seminar.htm

2 開催内容

13:00～13:10	主催者挨拶 来賓ご挨拶	(公財)全国中小企業取引振興協会 会長 桑原 茂樹 中小企業庁 経営支援部 経営支援課 課長補佐 片山 男児 氏
13:10～13:50	【講演】 中小企業の情報利活用の実態と支援 ～平成25年度中小企業の情報利活用 に係る実態調査結果より～	❖講師プロフィールく 青山 和正 氏 > 東京富士大学 図書館長 教授 中小企業基盤整備機構で長年、中小企業の診断指導、ベンチャー支援などに従事。中小企業大学校では、中小企業診断士養成課程の主席研究指導員として企業診断(工業)を指導。2007年より東京富士大学経営学部で教鞭をとる。中小企業庁(全国中小企業団体中央会)のものづくり補助金に係る審査委員、神奈川県ビジネスプラン評価委員、神奈川県新製品開発審査委員等に委嘱。 (公財)全国中小企業取引振興協会の情報化優良表彰企業審査委員 主な著書は、「精解中小企業論」同友館(単著) 「中小企業のライフサイクルと地域金融機関の役割」近代セールス社(共著) 「中小企業の円滑な事業承継の進め方」同友館(共著)他
14:05～15:15	【講演】 アジャイル開発によって開発コスト をどこまで下げられるか	❖講師プロフィールく 大島 正善 氏 > 一般社団法人 ICT 経営パートナーズ協会 運営会員。 MBC(Method Based Consulting)代表コンサルタント。 超高速開発コミュニティ 事務局。 外資系 IT 企業において、情報システムの開発およびプロジェクトマネジメントの仕事に長年従事。最近では、ユーザー企業主体の「超高速開発」の推進のため、各種団体・企業、あるいは政府機関などで講演を行っている。主な著書：『超高速開発が企業システムに革命を起こす』(2014年)など。
15:30～16:50	【事例発表】 新思考による情報システム構築事例 ～デザイン経営によるアプローチ～	❖講師プロフィールく 栗原 元教 氏 > 協和会計情報開発(株)代表取締役 中小企業診断士、日本ナレッジマネジメント学会会員 1968年 中小企業振興事業団入社 1969年 中小企業診断士登録 1970年 同研究指導員 1976年 協和会計情報開発(株)設立。同社代表取締役就任 中小企業向け経営支援活動及び、各種業務システムのパッケージソフトの企画・設計を販売 2004年 早稲田大学ビジネス情報アカデミー非常勤講師(ナレッジ経営) 2012年 一般社団法人 ICT 経営パートナーズ協会理事 イノベーション経営研究会を主宰
16:50～17:00	閉会挨拶	(公財)全国中小企業取引振興協会 専務理事 佐藤 恭一